

平成29年10月6日

平成29年度 第2回学校協議会 議事録

委員：浦田 直樹 氏（大阪工業大学）、関元 忠義 氏（西野田工友会会長）
松本 好弘 氏（野田阪神本通商店会会長）、矢野 裕史 氏（株式会社大成CI代表取締役）
山下 妙子 氏（PTA 会長）、吉兼 悦子 氏（元PTA副会長）
学校出席者：校長 富田 公一、事務部長 吉田 竹宏、教頭 谷 通弘
首席兼生活指導部長 三谷 兼一郎、進路指導部長 難波 誠吾

内 容：【学校協議会】

1. 開会 学校長挨拶
2. 授業見学
実習（機械系、電気系）、座学（1年生、AC系）の授業見学を実施
3. 進路指導の取り組みについて（難波より）
 - ・1次の就職試験（9月中旬）の結果報告をおこなった。現在、内定率84%
 - ・求人状況は、1572名（10/5現在）
4. 生活指導の取り組みについて（三谷より）
 - ・身だしなみ指導については、継続的に実施、遅刻指導は、昨年より少ない状況
5. 生徒状況について
6. トピックス（首席より）
 - ①広報活動等について
 - ・学校説明会など、広報活動を昨年以上に活発化。中学生保護者からの問い合わせや、参加者数など昨年より増加。
 - ②体育祭について
 - ・新たな取り組みとして、クラスTシャツの導入やクラブ生徒を中心にした集団行動など生徒自ら参加し、達成感を感じられる取り組みをおこなった。
 - ③クラブ活動について（表彰等）
 - ・アーチェリー部：優勝他6件 ・柔道部優勝他2件 ・卓球部3位1件

- ・空手道部優勝他 2 件
- ・剣道部 3 位 1 件
- ・バレーボール部優勝 1 件

④修学旅行について

10/13～16に実施する沖縄への修学旅行について。

7. H30年度に向けた取り組みについて（校長より）

30年度の学校経営計画作成にあたっての内容の骨子を校長より説明した。

- ・110周年の伝統と校憲のDNAを生かしてものづくり大阪のリーダーを育成する大阪一の工科高校をめざす。
 - ・すぐれた人材や実習設備などのリソースを生かし、先進的なものづくり教育に取り組む。
 - ・インターンシップ等の校外学習を計画的におこない、望ましい職業観を育成する。
 - ・生活指導面では、SSWの配置や相談体制の充実を図る。
- 委員より、よい方向であり、西野田らしさがあるとの意見。

8. 意見交換会（委員からの主な意見）

【授業に関して】

- ・生徒たちは、静かな状態で授業を受けている。しかし、黒板を使い教員が説明するスタイルの授業が多いように感じた。今後は、生徒たちが自ら意見を発表したり、考えたりできる授業を多く取り入れてほしい。
- ・実習では学年進行とともにプロ意識や社会に出て働くことのイメージができるように授業改善に取り組んでほしい。企業は、技能の腕前ではなく、希望、意欲をもった人材を採用したいと考えてこのような職能意識を持った人材育成をしてほしい。

【進路に関して】

- ・今年度は昨年度に比べ、就職が増え、進学が減っている。生徒の希望をできる限り実現できるような入学から卒業までの段階的な就職指導（キャリア教育）を計画的に実施してほしい。
- ・大学の指定校入試は、面接だけの試験は減っている。面接だけで入学した学生に途中で退学や留年するものの割合が高い。高校での学習指導が大切である。

以 上